

1 佐賀県武雄市への支援について

(1) 支援の経緯

九州北部豪雨(8/28)による浸水等で、大量に発生した**武雄市**の災害廃棄物について、**大規模災害廃棄物対策九州ブロック協議会**(事務局：環境省九州地方環境事務所)より、福岡市に対し支援要請(9/6)があったため、**可燃ごみの受入れ**を行った。

(2) 被災状況 (9/13時点)

- ・人的被害：死者3名
- ・住宅被害：床上浸水1,025棟，床下浸水507棟
- ・災害ごみ：7,000 t (発生見込量)

(3) 支援状況

- ・通常時のごみ処理や緊急時の対応に支障をきたさない範囲での受入れを開始
- ・9/17から**臨海工場**(最大20 t/日)
- ・11/6から**西部工場**(最大20 t/日)
- ・2工場で合計**1,441 t**を受入れ
(武雄市が搬出した可燃ごみ量3,370 t)



佐賀県武雄市
人口48,877人(R01.10.31)
面積195.40km²

地理院地図をもとに作成 福岡市

2 宮城県角田市への支援について

(1) 支援の経緯

環境省から福岡市に対し、台風19号(10/12上陸)による浸水等で、大量の災害廃棄物が発生した**角田市**への技術支援の要請があったため、職員を派遣して**災害廃棄物処理マネジメント支援**を行った。

(2) 被災状況 (11/27時点)

- ・人的被害：死者1名，重傷者0名，軽傷者4名，行方不明者0名
- ・住宅被害：床上浸水736世帯，床下浸水806世帯，土砂崩れ2世帯，突風被害18世帯
- ・仮置場集積の災害ごみ：5,700 t (可燃ごみ3,700 t，不燃ごみ2,000 t)

(3) 支援状況

- 派遣職員：合計11名 (期間11/8～12/6)
支援内容：**災害廃棄物処理マネジメント支援**
- ・旧ごみ処理施設の再稼働の検討
 - ・広域処理先(県外の処理施設)の確保
 - ・国へ提出する災害等報告書の作成
 - ・仮置場の設置や管理に関する事など



宮城県角田市
人口28,890人(R01.10.31)
面積147.53km²

地理院地図をもとに作成 福岡市

佐賀県武雄市



福岡市へ搬出する廃棄物の積み込み確認



臨海工場での受入状況(初日はTV局が取材)

宮城県角田市



仮置場の管理状況等を確認



角田市の大友市長に進言する派遣チーム

3 「災害廃棄物処理支援担当」の組織設置について

(1) 概要

近年、全国各地で大規模な豪雨災害等が頻発し、災害廃棄物の処理が問題になっていることを踏まえ、被災地におけるごみ処理の広域的な支援体制を構築する必要があることから、**発災直後より、災害支援やごみ処理の実務経験を有する基礎自治体が、被災市町村をサポートする取組みを検討するため、「災害廃棄物処理支援担当」の組織を環境局内に設置したもの。**

(2) 設置日

令和元年12月1日

(3) 設置内容

- 部長 (災害廃棄物処理支援担当) ※循環型社会推進部長兼任
- 課長 (災害廃棄物処理支援担当)
- 主査 (災害廃棄物処理支援担当)